



西川町 議会だより

「若い人」シリーズ
秋まつりを盛り上げる
間沢若衆会のみなさん
活動紹介は裏表紙にあります。

2012.10.15 82号

発行 山形県西川町議会

9月定例議会	2
第4回臨時議会	5
決算特別委員会	6
一般質問	8
議会報告と対話の集い	12
行政評価	14
議会の動き	15

町の空き家等の適正管理に関する条例に対して

議会初の附帯決議を提出!

9月定例会は、9月3日から14日までの12日間開かれました。平成23年度一般会計、特別会計、事業会計の決算を認定し、人事については、教育委員2名のうち1名を不同意としましたが、固定資産評価委員と町有林運営委員は同意しました。また、6件の条例と一般会計及び簡易水道特別会計、宅地造成事業特別会計、水道事業会計の補正予算は全て可決、3件の請願を採択し、4件の意見書提出について可決しました。

空き家対策は、緊急の課題として以前から議会でも問題視され、早急な対策を行なうよう要望してきました。

今回、町長から条例が提出され、全員賛成で可決されましたが、内容が不十分であったため、議会ではただちに、附帯決議を提出しました。

町長提出の条例は10条からなり、実態調査、助言指導及び勧告、命令、立ち入り調査、公表等になっていきます。

これに対し、議会では、「今回の空き家対策は、議会でも先進地視察を含め検討を重ねていたにもかかわらず、町長から突然条例が提案され、議会との信頼関係を損なう。町民の生命財産を守る立場から、条例の

提案は一歩前進と評価し可決するが、今後、附帯決議の3項目に十分留意されたい。

これからは重要な案件を議会に提出する場合は、事前に十分協議する場を設定するよう求める」として、附帯決議を提出し、全員賛成で可決しました。

空き家等の適正管理に関する条例に対する質疑

質 行政側の調査だけでは一方的にならないのか。第三者の審議委員会を設置すべきではないか。

答 要綱等を定めて公平、透明に努める。

質 勧告等の履行期限をどう考えているのか。

答 期限は決めていないが、町民から理解を得るよう努めていく。

西川町空き家等の適正管理に関する条例の概要

(1) 目的
所有者に対し、適正な管理を義務付け、空き家が管理不全な状態になることを防止し、安全安心なまちづくりを推進することを目的とする。

(2) 町民からの協力
町民は周辺に管理不全な空き家等があった場合は、町に対し情報を提供する。

(3) 町の対応
町民からの情報提供に基づき、町は実態調査を行なう。

・実態調査の結果、適正に管理されていないと認められる空き家等の所有者に対し、町は、助言又は指導を行なうことができ、助言又は指導に応じない場合は、期限を定めて必要な措置を講ずるよう勧告できる。

・所有者が勧告に応じない場合は、期限を定めて必要な措置を講ずるよう命令することができる。

(4) 施行期日

空き家等の所有者に対して義務を課す内容であるため、一定の周知期間を経て施行する必要があることから、平成24年11月1日を施行日とする。

附帯決議

1 条例施行後、解体等ができずに既存の法令等では問題が解決できない場合は、速やかに行政代執行などの実効性あるものに調査検討するよう。

2 本町にあつては一人暮らし、あるいは高齢者等で、町の勧告を受けても解体できない特別な事情がある場合は、費用の一部を援助するなど特殊事情を勘案する内容を組み入れるよう調査検討するよう。

3 勧告を受けた空き家が行政上必要と思われる土地に存する場合、町で土地を含めた寄付を受けることができないか調査検討するよう。



▲ 水沢の国道112号線沿いにある危険な空き家

平成23年度決算全員賛成で認定

決算詳細については、10月号の町報をご覧ください



▲ 西川小学校初めての運動会

昨年度に比べ財政状況は改善されています。また、税の収納率も平成19年度から県内トップの座を保っていることは、町民の皆様の納税に対する意識の高さを感じます。

町の借金である町債残高は62億4千700万円ですが、平成23年度は前年度比57・8パーセント減の4億5千万円となっています。

監査委員の審査意見の報告の中で、「一部事務処理の誤りが見られた」という報告がありましたので、今後事務処理についても、議会として監視していきます。

※健全化判断比率とは、町の財政状況の健全度を示す比率。

西川町の健全化判断比率の状況	
実質公債費比率	将来負担比率
全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合
15.6%	55.7%

25.0%以上は危ない!

350.0%以下ならOK!

西川町の財政は大丈夫です!

●金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

会計		歳入総額	歳出総額	差引残額
一般会計		50億2,425万円	45億6,263万円	4億6,163万円
特別会計	国民健康保険	7億5,606万円	6億5,664万円	9,942万円
	事業勘定	348万円	340万円	8万円
	施設勘定(大井沢診療所)	2,952万円	2,840万円	113万円
	簡易水道	5,800万円	5,800万円	0円
	路線バス事業	2億1,239万円	2億1,160万円	79万円
	公共下水道事業	2,843万円	2,795万円	48万円
	農業集落排水事業	415万円	392万円	23万円
	寒河江ダム周辺施設管理事業	7,889万円	7,858万円	31万円
	後期高齢者医療	6億4,376万円	6億4,314万円	62万円
	介護保険	8,743万円	2,077万円	6,665万円
宅地造成事業	69億6,237万円	62億9,503万円	6億3,134万円	
合計				

会計	収入	支出	収支差引	
病院事業会計	収益的	7億2,555万円	7億2,227万円	328万円
	資本的	554万円	7,137万円	△6,583万円
水道事業会計	収益的	1億2,013万円	1億1,054万円	959万円
	資本的	1億9,802万円	2億7,061万円	△7,258万円

第4回臨時議会

7月17日開催

平成24年7月17日に第4回臨時議会が開催され、当初予算に4千522万円を追加する補正予算が審議されました。主な追加は、凍上災害の復旧工事、根子川林道路肩整備、小学校校舎の出窓と体育館手すり改修です。

質疑

質 小学校の階段と出窓の修繕の件は、子どもたちの安全の観点から、工事の方法に問題があると思われるので、再度検討し結果を報告してもらいたい。

答 再度、設計・施工業者と協議し検討する。

質疑

質 西川町総合開発株式会社は、機械購入費は全額町負担なのか。

答 町のものなので全額町負担である。

質 青年就農給付金は、新規就農者が対象なのか。

答 新規就農者だけでなく既に就農している青年も対象となる。今回は2名

に給付している。

質 小水力発電の予算は、調査費なのか。

答 調査費だが、今回は水沢地区に新規に設置し、銘水館の庭の街灯に利用する。

質 今回の創意工夫プロジェクトに、町のかさ上げがないのか。

答 2次募集からは県のみの助成となる。

補正予算

一般会計は、当初予算額に1,975万円を追加し47億8,373万円に。公共下水道事業特別会計は60万円を追加し2億1,421万円に、介護保険特別会計は4,006万円を追加し6億6,247万円に、宅地造成事業特別会計は繰入金を繰越金に組換えし、水道事業会計は400万円を追加し1億2,072万円に。(全員賛成)

主な補正予算

■一般会計	
総務費	
大井沢温泉館水中モーターポンプ修繕料	194万円
地ビール製造管理システム整備費	275万円
民生費	
介護保険特別会計繰出金	354万円
農林水産費	
農産加工物施設及び微粉砕機器整備等	715万円
創意工夫プロジェクト支援事業	310万円
営農に関する各種支援	815万円
小水力発電実証事業	100万円
土木費	
大型ロータリー除雪車除雪委託料等	1,022万円
住宅地造成事業費	332万円
宅地造成繰出金	6,665万円
教育費	
廃校施設維持管理費	226万円
交流センターあいべ駐車場区画線整備費	102万円
災害復旧費	
町単独土木施設災害復旧事業費	608万円
公債費	
廃校施設繰上げ償還	2,699万円

条例等

総合交流センター「長寿命化対策基金条例」を廃止する条例

町税条例の一部改正

防災会議条例の一部改正

災害対策本部条例の一部改正

山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
(以上全員賛成)

人事

◎教育委員の任命

奥山育男氏

(賛成3 反対6)

奥山秀征氏

(全員賛成)

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

柴田隆一氏

(全員賛成)

佐藤勝男氏

(賛成8 無効1)

◎町有林運営委員会委員の任命

古沢憲一氏

(賛成8 反対1)

意見書

○地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

提出先 関係各大臣、衆・参議長

○脳脊髄液減少症の医療についての意見書

提出先 関係各大臣、衆・参議長

○少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元にかかる意見書の提出に関する意見書

提出先 関係各大臣

○地方財政の充実・強化を求める意見書

提出先 関係各大臣

意見書の提出 全員賛成で採択 請願

決算特別委員会

平成23年度 一般会計、特別会計、事業会計

総額74億6982万円の決算審査 認定

全員賛成で

一般会計

〔議会費・総務費〕

質 山間地の町内会では組織の維持が難しく、役員や隣組等を統廃合すると町内会長報酬が減少し、活動に支障をきたす。集落機能維持のための交付金を新設できないか。

答 町が支払う町内会長報酬はお知らせ等の配布物に対して支払っているものである。町内会長の報酬は町内会活動費ではないので、今後の検討課題となる。

質 ふるさとCM大賞の経費はどんな内容か。

答 職員で行っているのでお金はかけていない。今年度は子ども出演を予定しているので、謝礼は若干かかると考えている。

質 緑のふるさと協力隊の動きが見えない。

答 緑のふるさと協力隊はNPO法人で、町がNPOに費用を出している。期間は1年間でしぼりはない。活動については、町と受入れ先とが協議して活動内容を決めている。

質 消防団員が年々減少している。地域格差があり、出動できる体制がとれない地区もある。全般的な見直しをしてもらいたい。

答 現在17名欠員となっており、高齢化も進んでいる。今後検討が必要であることは承知しているが、現在はこのままの体制としたい。

〔農林水産業費・商工費・土木費〕

質 40haの耕作放棄地を減らすために、支援してもらいたい。

答 集積できるところは集積団営農として、蕎麦の作付けを行なってきた。集積できないところはカボチャが有効と考えている。農業後継者は町内では足りない。町外からの参入者も受け入れている。

質 林道整備100万円の予算に対して30万円しか支出がない。各地区で林道整備ができなくて困っているという声がある。なぜ使われなかったのか。

答 補助が1/3であり、地元負担が大きいため使われなかった。今年は1/2補助にしている。

質 グラウンドゴルフ場の芝刈り機の管理と利用の状況は。

答 管理はグラウンドゴルフ協会に委託しており、使用状況の報告は求めている。芝の肥料と除草剤の代金は町が支払うが、あとは協会が全て行なっている。

質 住宅建築支援事業の予算には限度があるのか。補正しても全部受けるのか。

答 昨年度からの3カ年事業であり、申込み者全てに対応していく。

〔民生費・衛生費・労働費〕

質 除雪ヘルパーの、西村山管内に親族がいる場合は対象としないという規定は廃止するように。

答 家族が見守ることが第一義的であり必要と考えた対応である。なお、関係者と協議検討はする。

質 「地域支えあい体制づくり事業」の詳細は。

答 県の事業で平成23年度途中で出された。事業内容を検討し、上間沢の地域サロンを申請した。

病院事業会計

質 看護師の数は、厚生労働省の設置基準数を満たしているか。

答 基準はクリアしているが、あと2〜3人いれば育児休暇等を取っても影響ないと思っている。

質 訪問リハビリが減少しているが、方針なのかそれとも希望者がいないのか。

答 理学療法士が2名から1名に減少したので、業務を縮小せざるを得なかった。今後町の保健医療福祉施策の中で検討するが、1人体制では外に出ていくことができない現状となっている。



▲ きれいに整備されているグラウンドゴルフ場

質 育英奨学資金の基金の状況はどうなっているか。また、優秀な人材を確保するために町に戻った人については、償還金を半額にするなどはできないか。

答 希望者が増えていること、8月以降の償還希望が多いことから、年度当初資金が不足するため、ここ数年一般会計からの繰入が増えている。償還金免除は、全職種についてはむずかしいが、不足している医療職については検討していきたい。

質 西川中学校のプールは現在使用していないが、水泳の授業も含めた今後の対応はどのように考えているか。

答 中学校のプールは平成25年に解体する。水泳は小学校のプールを使って、小学生との交流授業にできないか検討している。

答 高額の治療費は県の補助対象となり、町は単独で軽微な治療も対象にしている。

質 不妊治療は1回で30万円と聞くと、10万円の助成で足りるのか。

答 町内の商店からは購入しているが、町内産品の割合は把握していない。

質 主催が町でない戦没者追悼式はおかしい。国は内閣総理大臣、県は県知事が主催している。

答 町長からも指示があり、来年度に向けて検討している。

質 地産地消の観点から、保育園の賄材料費の町内の食材が占める割合を把握しているか。

質 岩根沢三山神社の改修費補助は所有者が鶴岡市の羽黒山神社であり、町の所有物に対して補助するのはいかなるものか。

答 国の重要文化財であり、町の観光も含めて価値が高い建物なので、国や県と合わせて町でも支援するのは妥当であると判断している。

宅地造成事業特別会計

質 委託料2千万円はとて高いと感じるが、その内容は。

答 一番大きいのは調査設計委託料。人口集積地の造成にかかる調査設計の中に、どれだけの土をどこからとって、どこに土盛りするか。道路はどこに作っ

〔消防費・教育費・災害復旧費〕



奥山 敏行 議員

学校環境

一昨年の答弁を前進させては

町長 吊橋構想は、ご意見として受け止める



▲ 瀬見温泉の吊橋

質 西川小学校が開校されたが、次の3点の調査は行なったか。

- ① 遠隔地生徒の通学状況
- ② 学校周辺川沿いの六十里越街道と小月山橋下から続く間沢までの道の現地状況
- ③ 「夢があり、町民と議論すべき課題」と先に町長が答弁した「原地区から西川小学校に架ける吊橋構想」は、急ぎ議論と検討のテーブルに載せてはどうか。

答 ① 5月中旬から登校時に歩く取り組みを実践したが、始業時間ぎりぎりとなることや慣れない歩道での危険性を考慮し、7月中旬に終了し、現在は学校までバス通学となっている。

② 調査の結果、六部塚や義川が描いた「間沢葉師」の現地などを確認した。道路の一部は河川環境整備として親水護岸が実施されたが、作業場もあり、樹木が生い茂り、寒河江川が見えない状況になっている。

③ 吊橋構想は、実現可能な状況が訪れる場合もあると思うが、今のところご意見として受けるに止めたい。



佐藤 耕二 議員

防災

安全・安心な町づくりのために

町長 災害時の応援は、得られる体制を作っている



▲ 昨年の防災訓練（睦合）

質 被災時の応急対策活動に対応するために、災害応援協定を広範囲に結ぶ必要があるのではないか。

また、ハザードマップ作成のためのレッドゾーンやイエローゾーンの説明を、もっと的確に分かりやすくしないと町民が戸惑ってしまうのではないか。

11月に就航する予定になっている、ドクターヘリのランデブーポイントが決定するまでの経過と就航の予定地はどこか。

答 災害時には県内各市町村から応援が得られる体制になっている。

市町村からは、今年、具体的な会議が開催され、消防署等関係機関と協議し、臨時離着陸地の候補地を13箇所としたが、冬期間は3箇所のみとなる予定である。

ドクターヘリは、今年、具体的な会議が開催され、消防署等関係機関と協議し、臨時離着陸地の候補地を13箇所としたが、冬期間は3箇所のみとなる予定である。

レッドゾーン内には、個人通知を行い説明した。

イエローやレッドゾーンは、県が土砂災害防止法に基づいて調査して人命優先で指定するもの。当町では調査を終え、地区説明会も終了しているが、レッドゾーン内に住居がある方には、個人通知を行い説明した。

ドクターヘリは、今年、具体的な会議が開催され、消防署等関係機関と協議し、臨時離着陸地の候補地を13箇所としたが、冬期間は3箇所のみとなる予定である。

一般質問

明確な答弁を求める!!

一般質問とは 町の行財政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行なう論議

住宅団地 完売方策と住宅政策について

町長 来年3月までに検討結果をまとめる

宮林 昌弘 議員



▲ 住宅団地造成地

質 長引く景気低迷とデフレ経済、雇用不安、そして新たな消費税増税を考えると、分譲宅地が完売できるのか。

住宅団地の名称とキャッチフレーズ、分譲単価を安価に定め、前宣伝を急ぐべきである。公営住宅、長期賃貸住宅や高齢者対応住宅の具体的な建設計画は進んでいるのか。

定住人口確保、若者定住には、就労の場の確保と新たな職場づくりとして、廃校舎利用の高齢者福祉施設の誘致をどう考えているか。

答 町内の若者定住部会で町独自の恩典等の検討も行っており、来年3月までにまとめる。

造成工事は、来年8月完成を目指しており、国交省最上川統合管理事務所の協力を得て7千㎡以上の流用土をもらい、コストを抑えながら実施している。

公営住宅は平成25年に設計、26年に建設を計画しているが、長期賃貸住宅についてはさまざまな方法を比較検討して決定する。

廃校舎の利活用については、現在、広く一般公募を行っており、企業からの意見も念頭において、前向きに取り組んでいる。

7人の一般質問

7人の一般質問



佐藤 幸吉 議員

流雪溝

雪国の道路確保のため、流雪溝の整備促進を！

町長 水の利用については関係者でよく話し合っていたきたい



▲ 流雪溝があれば便利

質 除雪による道路の確保や除雪ボランティアによって、雪国の生活が守られてはいるが、水の確保や水利権という大きな課題はあるものの、各地区から流雪溝整備を希望する声が多く聞こえてくる。

答 水の利用については、慣行水利権によるものがほとんどで、非常に難しい問題であり、町が指導することはできない。区や町内会をよく話し合い、合意を得て水を確保していただくようをお願いしたい。雪道の克服は、流雪溝ばかりでなく、水が利用できる所では、除雪で対応すべく、今年からロータリー除雪機一台を増強して、作業にあたる。



伊藤 哲治 議員

総合計画

町づくりの理念をどう考え、基本方針をどう確立するのか

町長 理念は、しっかり歩む元気な町をつくること



▲ 24年度予算解説書

質 西川町第5次総合計画「後期実施計画」も残すところあと1年で最終年度を迎えるが、かかげた目標と現在までの評価をどのように分析し、やり残した課題等について第6次総合計画作成へどう反映する考えなのか。町のトップとして今後の町づくりの理念をどう考え、基本的な方針をどう確立していくのか。第6次総合計画と地域づくりの位置づけについては。

答 町づくりの理念は、「町民が自然豊かな町であることを自覚し、町の資源を大切に、町民と行政が協働し、スピードが速くともしっかりと歩む元気な町」をつくっていくこと。第6次総合計画の具体的な内容については、総合政策審議会や町民の方々からご意見をいただきながら、基本構想、基本計画を定め、実施計画を策定していく。

実施計画の中には、各地区で取り組んでいる地域づくり計画を反映していきたくて考えている。



青山 知教 議員

介護

高齢者の保健福祉 介護施策について

町長 質の高いサービスとなるよう環境整備に努める



▲ シルバー人材センター技術講習

質 超高齢化社会を見据えて医療保健介護の連携がはかられてきたが、町外介護施設への入所や通所利用が増加しており、また、急増する認知症対策が遅れているが、その対策は。高齢者の八割は元氣な方なので、そのパワーを結集する「高齢社会の対策係」の設置を。

答 町外の介護施設に入所しているが、ケアハウスや西川への入所を希望している人もいます。新たな施設建設は、現在の待機者の状況から「ケアハウス西川」で十分足りるという県の判断から、3カ年間の介護保険事業計画の中には入れていないが一人暮らし老人対策として高齢者住宅等を検討している。高齢者対策係の提案は、意見として伺っておく。今後とも保健医療福祉サービスを充実させ、介護が必要になっても、人々の絆を生かしながら住み慣れた地域で、西川町ならではの質の高いサービスが受けられるよう、更なる環境整備に努めていく。



飯野 咲子 議員

TPP

環太平洋連携協定への参加阻止を！

町長 私も反対していく



▲ 実りの収穫

質 TPPへの日本の交渉参加問題が、今重大な局面を迎えている。財界などTPP推進勢力は、大きな利益をもたらすと位置づけ、参加すべきと政府に圧力を強めている。しかし関税撤廃により、農産物や医療、環境、労働へ多大な悪影響を及ぼす。国民にとって、西川町にとつて、何ひとつよいことがない亡国のTPPに国民の多くが反対している。首長として、野田首相に参加反対の声を届けるべき。

答 「輸出が活発化する」「輸入品が安く手に入る」などの反面、輸入増加で国内企業や農家などへの影響規制緩和による安全基準の低下、郵政・共済制度の完全民営化、デフレの進行など、メリットや懸念事項がさまざま議論されているが、TPPが実施されれば、本町の農業は、壊滅的な打撃を受けると思う。また、医療・医療保険の自由化は、医療サービスの低下や医療費の増大を招き、国民皆保険制度の崩壊も危惧されることから、山形県、山形県町村会も反対を表明しており、私も町民会と活動を共にしていく。

7人の一般質問

7人の一般質問

第3回

議会報告と対話の集い

7月23日から8月6日にかけて、13地区で議会報告と対話の集いを開催しました。第3回となるこの報告会では、今回も積極的、具体的な質問が活発に出されました。各地区から出された意見は下の表の通りです。参加人数は総勢200人でした。
回答は町から引き出したものも掲載しています。今後現地調査等も予定しているところです。

要望 沼えびを志津の名物にしたい。養殖して提供してくれる人はいないのか。値段も良いし採算も取れる。

答 畑地化は今後とも進めていく。耕作放棄地は、蕎麦の補助がある。

要望 畑地化は今のうちにやれるだけやりたいので、補助制度を考えてほしい。また、耕作放棄地対策も強力に進めてほしい。

答 産業建設常任委員会、で調査・研究しており、町に提言書を提出している。

要望 一次産品はこのままでは微量で終わる。個人の力では出せる量もわずか。荒れている田を使つて町が腰を入れて対策しないと山菜王国は無理。高く売るには、それなりの対策をすれば、5年後には出せるようになる。

産業



▲ 畑地化によって作られた大井沢のほうれん草ハウス

答 県内のホテルで踊り食があった。まずは、地元で取り組んでいただきたい。

と思うが。



▲ 間沢地区での集い

●議会	18件
●農業	15件
●空き家	8件
●産業	7件
●環境	7件
●廃校利活用	7件
●教育	7件
●道路	6件
●住宅団地	6件
●行政対応	5件
●防災	5件
●流雪溝	4件
●林業	4件
●資源活用	3件
●小水力	3件
●第3セクター	3件
●高齢者	3件
●観光	3件
●交通	2件
●福祉	2件
●その他	14件

要望 町が発行している役員名簿を見ると、いろいろな役職がある。もっとスリム化するべきではないか。

行政対応

答 議会でも要望しているが、地元からも強く要望してほしい。

要望 間沢川橋から下堀十字路までの町道を早く拡幅してほしい。

道路

答 多くのアイデアを募集している。建設的な意見もいただいております。

要望 廃校を使って働ける場所を作してほしい。

廃校利用

答 月山ブランドとは、優れた農産物を認証する制度だが、最近では申請する人が少ない。今後は農産物加工品も認証していきたい。

要望 町が作った月山ブランドが機能していない。どうなったのか。

農業

答 他の市町村議会では長続きしていないので、検討していない。

要望 ナイター議会や日曜議会の考えはないか。

答 議員は一般競争入札をどう考えているのか。町内企業育成ができるのか。原則は一般競争入札だが、町は、現在指名競争入札を行なっている。

議会

答 光ケーブルがあると基地局まで容易になくことができるが、それがないので大手3社に要望をしてみるが難しいと思われる。

答 間沢川には光ケーブルは不要としたが、山菜採りが多く、遭難の可能性もあるので、携帯電話は通じるよう対応してほしい。

その他(携帯電話)

答 早く販売方法を決めるよう議会でも急がせる。

要望 住宅団地の販売をどう考えているのか。

住宅団地

答 確かに旧態依然であると思うので、今後見直しを進めていく。

答 第1・3・5土曜日の午前中実施しているが、その外の時間帯も要望があるのか検討していきたい。ただし、家族がいるところは家族が面倒をみるというのが原則となる。

要望 若い父母のために、土曜保育を要望する。

答 施設待機状況も踏まえ、現在の「ケアハウス西川」で充足しているが見ているが、今後町民のニーズを踏まえ、介護サービス向上に努めていく。

福祉

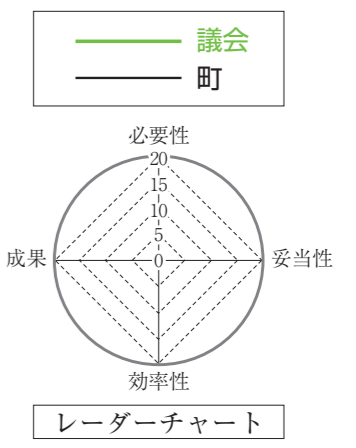
要望 空き家や一般住宅を利用した小規模老人ホームができないか。施設も選択できるようにしてほしい。

行政評価に9項目を選択!

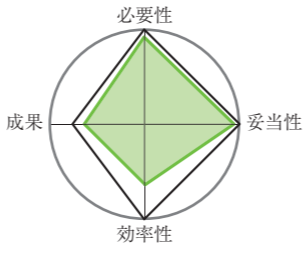
町と議会による初めての行政評価

議会活性化の一手法として、今回初めての行政評価を実施しました。議会で選択した9事業について、町による自己評価を受け、議会全体で議論し最終評価としました。その結果を、コメントとレーダーチャートで表しました。

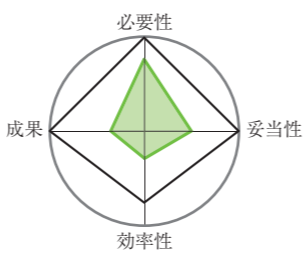
評価基準	
1	拡充する
2	現状のまま継続する
3	改善し継続する
4	見直しのうえ縮小する
5	期間設定し終了
6	廃止する



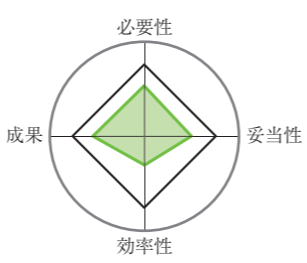
事業名	西川町子育て支援事業	総合評価	
少子化対策事業として更なる拡充を希望するが、西川町の子育て支援事業が総合的にわかるよう、周知方法に工夫をすること。	町	議会	
	1	1	



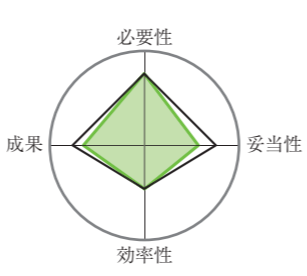
事業名	総合産業化推進事業	総合評価	
必要性は認めるが、成果が町民にはほとんど見えてこない。根本である1次産業の何を、どれくらい、だれが、どういう体制で進めるのかのビジョンを早く立て、それに向かう体制整備を速やかに図るべきである。理論だけの先行ではなく、実態のある施策をスピードを持って展開していくべきである。	町	議会	
	1	3	



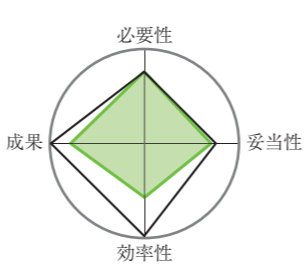
事業名	町営造林事業	総合評価	
町営造林を今後どうしていくのか。場所、樹種、樹齢等を考え、過去の例にこだわらず施策計画を見直し、育成あるいは利用すべき山林、残すべき山林、もしくはお金をかけるべきではない山林といった町の政策を打ち出すべきではないか。将来に向けた展望並びにその基本となる森林データなくしては、木質バイオの利用にも、住宅政策にも結びつけることは不可能である。	町	議会	
	2	3	



事業名	教育旅行拡充推進事業	総合評価	
西川町の特に大井沢を中心とした教育旅行は、関係者の努力もありここまで成長してきたものである。今後も充実したものとなるよう、メニューの改善、受け入れ態勢の整備、他地区との協同の取り組みなど、小さな課題であっても少しずつ改善しながら、充実したものとなるよう今後の取り組みに期待する。	町	議会	
	3	3	



事業名	マイロード整備事業	総合評価	
住民の理解も得られ、地元自ら必要な箇所を選び取り組んでおり、必要性は高いと理解できる。今後も住みやすい地域づくりの事業の一つとして継続すべきものである。	町	議会	
	2	2	



議会の動き

議会活性化調査特別委員会

- 8月24日 研修会「議会基本条例制定について」

産業建設常任委員会

- 9月5日 行政評価
- 9月6日 行政評価
- 9月7日 観光誘客対策

総務厚生常任委員会

- 8月9日 高齢者施設・廃校舎の利活用
- 9月5日 行政評価
- 9月6日 行政評価
- 9月7日 請願審査

議会全員協議会

- 9月7日 定任対策空き家対策等報告
- 9月11日 「空き家等の適正管理に関する条例」に対する対応
- 9月28日 行政評価の最終評価

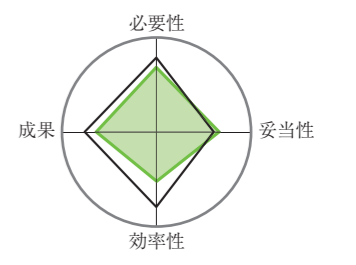
議会運営委員会

- 8月24日 第3回定例会の運営
- 9月14日 議会報告会の質問・意見等への回答

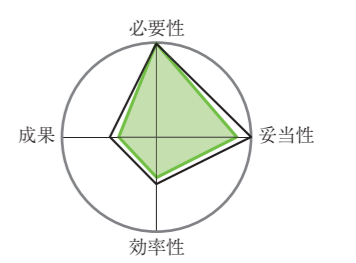
広報公聴常任委員会

- 9月12日 議会だよりレミアウト会議
- 9月21日 議会だより編集会議
- 10月2日 議会だより第1回校
- 10月5日 議会だより第2回校
- 10月10日 議会だより第3回校

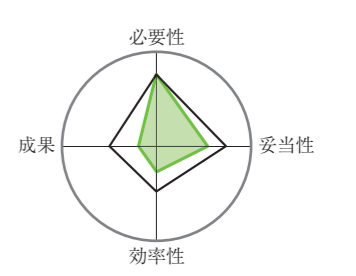
事業名	西川のまちづくり応援団支援事業	総合評価	
町の人的財産である応援団の力を生かせるよう、事業のあり方、町民との交流のあり方、組織の今後の方向性など抜本的見直しが必要な時期と考える。	町	議会	
	3	3	



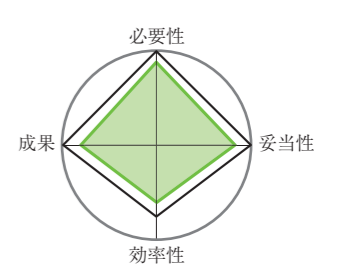
事業名	インターネットホームページ運営事業	総合評価	
必要性は誰もが認めるところであるが、現在の情報提供方法では効果が上がっていない。早急に改善し、更新も常に行うよう体制を整えるべきである。	町	議会	
	1	3	



事業名	ブライダルサポート事業	総合評価	
行政の力だけでは無理であり、民間の力を大いに活用し、出会いの場の機会を増やすことが必要といえる。また、結婚推進員の人員、活動内容、報酬など、成果が残せるようきちんとした考えで改善を行い、その効果を計るべきである。	町	議会	
	3	3	



事業名	除雪ヘルパー派遣事業	総合評価	
必要性も高く、効果も上がっている。制度そのものも町民にも理解されているが、ヘルパーとボランティアとの違いをより明確にすることも必要である。また、公平性の確保の面からも、要綱の見直しに当たっては留意することが必要である。	町	議会	
	3	3	



『若い人』シリーズ 2

ま ざ わ わ か し ゅ う か い 間 沢 若 衆 会 の 活 動



会 長 佐 藤 英 史 さん (下 堀)

間沢若衆会は、平成16年に結成しました。若い人同士のコミュニケーションと交流をおとして、地域に活力をつけたいとの考えがまとまり、有志20人ほどで出発しました。その後今日まで会員も増え、現在は39人で活動をしていきます。

会には規約などはなく、固苦しいイメージを払拭しています。定例会は、2カ月に1回位のペースで会長の号令で集まりますが、議題は当面の事業の計画が主なものとなります。

また、会の大きな目標である地域に活力をつけるには、地域との関わりがなければならず、会員のほどんどが、公民館や消防団などの役員を積極的に担い、将来の地域を守る素地が培われているのかなと見ているところです。

さて、年間をおして会の大きな行事のひとつに「間沢納涼夏祭り」があります。区、各町内会の協力で地区上げての行事となりますし、夏のひと時を区民総出の賑わいによって、日

頃の疲れを飛ばし、地区民のコミュニケーションの絶好の機会となります。準備から当日の役割までと大変さはありますが、多くの参加者が楽しく賑わっているのを見ると役割の大きさを感じ嬉しくなります。

また、会員の中には会社の役員や社長という立場にある人もいます。会社や地域のイベントを開催する時の、会員同士の協力によってイベントを盛り上げ、成功への一端を担うこととなります。

先日行われたチャリティコンサートでの駐車場の整理員の役割などはそのひとつと言えるでしょう。これからは10月20日・21日の「にしかわ秋まつり」や11月11日の「月山青春音楽祭」での協力などが予定されています。

会員が強制的に参加を強



▲ にしかわ秋まつりは俺たちが盛り上げる

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は 12月です

いられるのではなく、無理をしない活動によって長続きする会にしたいと思っています。

まだまだ未熟な会ですが、地区民の皆さまのご指導を今後ともお願いします。

歴史に残る暑い夏が終わり、彼岸も過ぎ、たちまちさわやかな秋の佇まいの中…。春夏秋冬を体感できる日本は素晴らしい国です。

一方で、国政の行方や尖閣諸島をめぐる隣国との問題など重い課題も多々ありますが、私たち一人ひとりがしっかりと考え、声にすることが大事だと思います。

町政も同じです。日ごろ寄せられる皆さまの声を大切に、しっかりと町政に反映したいと願い、議会活動に、そして議会だよりの編集にがんばっています。

寒い季節を迎えます。健康にご留意されますように。

(佐藤 耕二)

編集後記

秋の田の
かりほの庵の 苫をあらみ
わが衣手は 露にぬれつつ
(天智天皇)

- ご感想も寄せください。
- 《発行・編集責任者》 議長 井場 榮治
 - 《編集委員》 委員長 奥山 敏行
 - 副委員長 横山 修
 - 委員 飯野 咲子
 - 委員 佐藤 耕二